



1. 9. 18
杉並区広報課

『荻窪風土記』の設計図

井伏鱒二の創作メモを初公開

杉並区立郷土博物館（大宮1-20-8）では、9月14日より準常設展「杉並文学館～井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士～」を開催しています。今回の展示では、井伏鱒二ゆかりの資料とともに、同館が新たに入手した「荻窪風土記」の創作メモと書簡を初公開。井伏鱒二の創作メモは存在しなかったのではとも考えられていたので、井伏鱒二を研究する上で貴重な資料となり得ます。

長年住み続けた荻窪界隈のまちと人の移り変わりを、独特の淡々とした筆致で描いた井伏鱒二の名著『荻窪風土記』。この作品の自筆原稿は郷土博物館に所蔵されており、その原稿の何度も推敲を重ねる様子から、そもそも創作メモのようなものは存在しなかったのではとも考えられてきました。そのようなことから、今回の発見は作家井伏鱒二の創作スタイルを再考するものとなり得ます。



このメモは井伏家から郷土博物館に寄贈されました。百貨店の包装紙の裏側にレポート用紙や広告チラシ、原稿用紙の裏紙など12枚のメモが貼り付けられた状態で、『荻窪風土記』に登場する人物や店名、地名、出来事などが手書きの地図等を交えて詳細に記されていることから、『荻窪風土記』の執筆段階で作成されたことが分かります。

展示では、メモの翻刻やメモに該当する本文の一部を書き出したパネルを展示。創作メモと交互に見比べられる工夫を施しています。例えば『荻窪風土記』には街の様子を描写する箇所がありますが、井伏が前述の地図を見ながら記述したことがはっきりと読み取れます。

ほかにも、井伏鱒二が愛用した万年筆や釣竿などゆかりの品々を展示しているほか、『荻窪風土記』の一篇「小山清の孤独」を執筆するために小山清と懇意であった辻淳あてに取材依頼した書簡も初公開しています。

準常設展「杉並文学館～井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士～」

【日時】9月14日（土）～10月14日（月・祝）午前9時～午後5時

（会期中休館日：9月19日（木）・24日（火）・30日（月）、10月7日（月））

【会場】杉並区立郷土博物館（大宮1-20-8）

【観覧料】100円（中学生以下は無料、20名以上の団体は一人80円）

【問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841（直通）

広報課報道係：03-3312-2111（代表）